

ネズミシメジ *Tricholoma virgatum*

キシメジ科キシメジ属

概要

地方名	
傘の大きさ	小型から中型
形と色	傘：灰色で、成熟しても中央部は突出しており、黒味を帯びている。 ひだ：白色で後に灰色から薄い黄土色のようになり、やや密である。 柄：太く繊維状の模様がある。
発生時期	夏～秋
発生場所	マツなどの針葉樹の地上に発生する。
その他	ネズミシメジは独特の苦み、辛味がある。
症状	食後 30 分から数時間で嘔吐，下痢，腹痛を起こす。
毒性成分	毒成分は不明であるが，トランス-2-ノネナール，インドール類などを含む。
間違いやすい食用きのこ	味がよいとされるシモフリシメジ（食用）と似ていて間違えやすいので注意が必要である。中央部が尖っていて、独特の苦み、辛味があるものがネズミシメジである。

（写真図説）

傘の中央部が尖っている。



詳細

1 特徴

(1) 毒性成分*1	(成分名)
	(構造式)
	トランス-2-ノネナール(trans-2-nonenal), インドール類などを含有するが, 毒性本体は明らかではない。
(2) 食中毒の型	胃腸消化器系
	(毒性成分の含量)
	(毒性発現機構)
(3) 中毒症状*1	摂取後, 嘔吐, 腹痛, 下痢などの胃腸消化器系の中毒症状を示す。
(4) 発症時間	摂取後 30 分から数時間程度。
(5) 発症事例	(症例 1)
	(症例 2)
	(その他)
(6) 中毒対策	

2 毒性成分の分析法

毒成分が明らかでないため分析法はない。

(1)	説明
	(図解)

3 その他

諸外国での状況	
参考になる情報	

4 間違いやすい食用きのこ

1	一般名	シモフリシメジ
	学名	<i>Tricholoma portentosum</i>
	発生場所	
	発生時期	
	形態	

引用・参考文献

- 1) 長沢栄史.「フィールドベスト図鑑 14 日本の毒きのこ」(株) 学習研究社